

# 平成 26・27 年度人権教育研究指定校の実践

## 焼津市立大井川西小学校

大井川西小学校では、今ある教育活動を「人権教育」の目で捉え直し、ちょっとした工夫を取り入れ、以下のような実践をしました。

### ●研究テーマ

自分らしさが輝く子

～「自分から」がいっぱい、「思いやり」「支え合い」がいっぱい～

### ●各指導部の取組

#### ○学習指導部【人権教育を意識した授業づくり】

目標 学ぶ楽しさを実感し、確かな学力をつけることにより、子どもの自尊感情を育てる。

・学ぶ楽しさを実感できるように大切にして取り組んだこと

①子どもが自ら主体的に学ぶ授業の工夫

②一人一人を大切にし、どの子もわかるようになる授業の工夫



#### ○生徒指導部【自己指導能力】（具体例）

①友達の良い所を書き、学年ごとに掲示を工夫した「かがやきの木」

②ひまわり学級とのかかわりを大切にした「インクルーシブ教育」

#### ○特別活動指導部【よりよい人間関係】（具体例）

①上級生に憧れる気持ちや下級生を慈しむ気持ちを育てるペア活動

②大井川西幼稚園との交流

### ●保護者や地域の方との交流

①大井川商工会と一緒に品物の宣伝や販売の体験をする「街道カーニバル」

②地域の田んぼを借りて行ったお米づくりや地域に花の苗を贈った「花いっぱいになあれ」活動

③家庭向けに人権だより「ぼかぼか」を発行し、チャレンジした感想を収集して掲示

### ●学校評価アンケート結果から（児童対象）

友達のいいところを見つけている。	78% (H26) → 81% (H27)
大井川西小学校が好き。	90% (H26) → 92% (H27)

#### 教職員の意識化

- ①子どもに対して自分の発している言葉に注意するようになった。
- ②自分の人権感覚を再確認するようになった。

#### 子どもの変容

- ①自分なりのめあてを持って、主体的に学習に臨むようになった。
- ②自分のよさとともに、友達のよさを認めるようになった。

#### 保護者への浸透

- ①子どもと向き合う時間を意識するようになった。
- ②口出しを控え、子どもが自分で考えるまで待つようになった。